第4次 岐阜市子どもの読書活動推進計画 ー概要版ー

基本理念【P.7】

子どもたちに、「こんな風に生きてみたい」という生きる希望を与えてくれるのが読書です。

物語の世界を想像すること、他者を知ること、世界や歴史上の人物を知ること、自分自身を知ること。そうした読書体験は、子どもたちが自分と向き合い、考えを深める時間につながります。さらに、情報環境が急速に変化する中において、読書は知識を得るだけでなく、情報を読み解き、自ら考え、活用する力を育む基盤としての役割を担っています。

読書は、「子どもの幸せを実現する」ための魅力的なとびらです。

そのとびらをひらくのは子どもたち自身ですが、子どもたちが思わず本を手に取り、本の世界にわくわくしながら入りたくなるような読書環境を整えるのはすべてのおとなの役割です。

子どもたちが、「人」を通して、学校や家庭や、図書館で様々な「本」と出会い、「学び」を深めていきます。そうした**「人」「本」「学び」のつながりを**大切にしながら、家庭、地域、学校、図書館が連携して、子どもたちの成長と読書活動を支えていきます。

基本目標【P.7】

子どもたちが読書を通して、本を楽しみ、自ら考え、学び、人とつながりながら、主体的に生きる力を育むことを目指します。

５つの方針

活動方針① 子どもの主体的な読書体験と学びを育む

- **（1）子どもの主体的な読書体験と学びを育む家庭・地域の役割**（P.12～14）
  ⇒ブックスタート関連事業・公共施設での取組 等
- **（2）子どもの主体的な読書体験と学びを育む市立図書館の役割**（P.15～27）
  ⇒おはなし会・本のお宝帳事業・子ども司書の育成 等
- **（3）子どもの主体的な読書体験と学びを育む学校の役割**（P.28～30）
  ⇒読書活動の推進・図書の貸出連携 等
- **（4）子どもの主体的な読書体験と学びを育む幼稚園及び保育所（園）等の役割**（P.31～32）
  ⇒読み聞かせ・絵本の貸出 等
- **（5）その他の活動**（P.33～34）
  ⇒「共読」の取組・デジタル活用に関する取組

※共読(きょうどく)：子どもが本を読んで感じた気持ちを、自分ひとりで完結させないで、家族や友だちなど他の人と伝えあい、語りあうこと

活動方針② 紙の本とデジタルを活かし、読書の魅力を届け、本との出会いを広げる

- **（1）家庭・地域で読書の魅力を届け、本との出会いを広げるための取組**（P.35～36）
  ⇒家読のすすめ・まちライブラリーに関する取組
- **（2）市立図書館で読書の魅力を届け、本との出会いを広げるための取組**（P.37～38）
  ⇒図書館だよりの作成・ブックリストの作成 等
- **（3）学校で読書の魅力を届け、本との出会いを広げるための取組**（P.39～41）
  ⇒わんこカートの小学校訪問・ボランティアの派遣 等
- **（4）幼稚園・保育所（園）等で読書の魅力を届け、本との出会いを広げるための取組**（P.42）
  ⇒ボランティアの派遣

活動方針③ 読書活動を支える人づくりとつながりづくり

- **（1）ボランティアへの主な支援活動**（P.43～44）
  ⇒派遣ボランティアの育成・読み聞かせ講座の実施 等
- **（2）青少年サポーターへの主な支援活動**（P.44～45）
  ⇒青少年サポーターの育成
- **（3）学校及び幼稚園や保育所（園）等関係者への主な支援活動**（P.45～46）
  ⇒研修会の開催 等
- **（4）読書推進ネットワークづくりの主な取組**（P.47）

活動方針④ 学校と市立図書館のつながりを深める

- **（1）学校連携室の設置による主な取組**（P.48～52）
  ⇒市立図書館司書の学校派遣・図書館見学及び職場体験の受入 等
- **（2）学校図書館と市立図書館とのシステム連携による図書の貸出の取組**（P.53）

活動方針⑤ 多様な子どもへたちに寄り添う読書環境づくり

- **（1）障がいのある子どもや日本語に慣れていない子どもへの支援**（P.54～55）
- **（2）図書館に来館する機会がない子どもへの支援**（P.55～56）
- **（3）生活の中で行動制限がある場合の支援**（P.56）